

婦人と子ども

大正六年一月一日
第十七卷第四號

學ぶべき春よ。春の力よ。

春は偉いなる教育者である。此の偉大なる教育力は、天地すべてのものに自發的開張の力を與へて、もの皆啓き、解け、發せざるはない。萌芽は生え出で、堅き蕾は解け、蟲は蟻を啓いて出る。生々育々、生きて動かざるはない。

夏には夏の教育力がある。秋には秋の教育力がある。しかも啓發、解誘の教育者は春である。即ち春は自然の幼兒教育者である。

欲しいものは春の化育の力である。頑な冷い地殼を和げて、そこに若草を萌えしむる力である。花を開かせる力である。鳥を歌はせる力である。蝶を舞はせる力である。

あゝ春は今天地に充つ。保育者の學ぶべき春、保育者の欲しい春の力は四方に充ちて居る。來れ愛する幼兒達よ。而して我が春の力の中に、生えよ、開けよ、歌へよ、舞へよ。